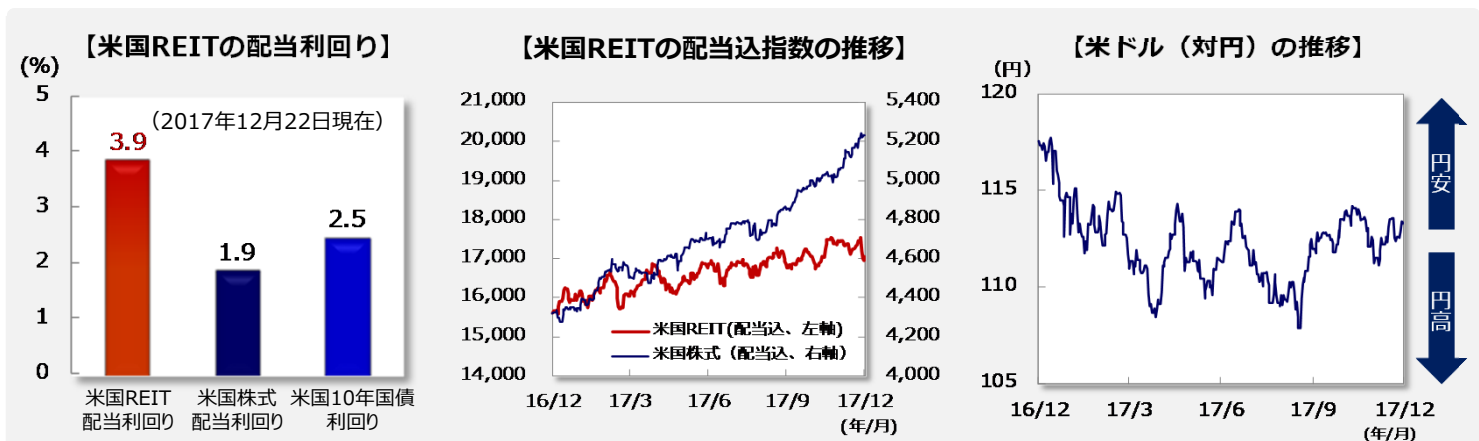


### ■米国のREIT市場、株式市場、為替および配当利回りの推移

指数名称	基準日	騰落率				
	2017/12/22	1週間	1ヵ月	6ヵ月	1年	3年
米国REIT						
FTSE NAREIT All Equity REITs インデックス(配当込)	17,046.68	-2.3%	-2.1%	1.6%	9.1%	17.9%
米国株式						
S&P500(配当込)	5,229.79	0.3%	3.5%	11.3%	21.1%	37.5%
為替レート						
円/米ドル	113.29	0.6%	1.9%	1.8%	-3.6%	-5.6%



期間：2016年12月22日～2017年12月22日（日次） 出所：ブルームバーグ、NAREIT（全米不動産投資信託協会）のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※米国REIT指数と米国株価指数は配当込みです。

※該当日が休業日に当たる場合は、前営業日の終値を使用しています。

※FTSE NAREIT All Equity REITs インデックスは米国REIT市場の動向を表す指数であり、FTSE社および全米不動産投資信託協会が一切の知的財産権を保有しています。

### ■米国REITの市場概況

#### 米国REIT市場の動向

週初は、米税制改革への期待から米国株式市場が上昇し、米国REIT市場も買いが優勢となりました。その後、米税制改革法案が上下両院で可決され、投資家のリスク選好姿勢が強まったほか、FRB（米連邦準備制度理事会）による政策金利の引き上げを見込んだ米国債売りの動きから、米国10年国債利回りが上昇し同市場は大きく下落に転じました。週末は、米国10年国債利回りの上昇が一服したことを受けて同市場は上昇したものの、前週末比-2.3%で取引を終えました。

#### 米ドル(対円)の動向

米税制改革の採決が迫るなか、週初は持ち高調整の米ドル売りが優勢となりました。週中は、良好な経済指標や米税制改革法案の進展を受けて米国10年国債利回りが上昇し、日米金利差の拡大から米ドルは上昇しました。その後、7-9月期の米実質GDP（国内総生産）確定値が下方修正されたほか、米税制改革法案の議会可決を受けた米ドル買いに一服感が出たため、米ドルは売りに転じました。週末は、クリスマス休暇や年末を控え、市場参加者が少なく方向感に乏しいなか、持ち高調整の動きから米ドル売りが進んだものの、前週末比+0.6%で取引を終えました。

### ■トピック

12月17日、Equinix（EQIX/データセンター）は、カナダのオンタリオ州教職員年金基金から、オーストラリアでデータセンター事業を展開するMetronode groupを、10.35億オーストラリアドル（約7.92億米ドル）で買収すると発表しました。Metronode groupの2017年9月末基準の一年間の売上高は0.6億オーストラリアドル（約0.46億米ドル）となっています。同社は、経済成長が続くオーストラリアでのビックデータなどを活用したデジタルビジネスの発展を見据えています。アジア太平洋地域の政府や教育機関における相互情報通信に対する需要は、2020年にかけて年率69%のペースで増加するとの推計もある中で、同社は同地域を有望視しており、今回の買収でシドニーやメルボルンなどの大都市に加え、パースやキャンベラなどにある10カ所のデータセンターを取得することが、アジア太平洋地域でのさらなるプレゼンスの向上につながるとみています。当該買収後は、同社の事業規模は全世界52の市場で200カ所のデータセンターを有することになり、そのうち40カ所がアジア太平洋地域となります。

## 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

### 【投資信託に係るリスクと費用】

#### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

#### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

##### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 : 上限3.78% (税込)

換金時手数料 : 換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額 : 上限0.5%

##### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬） : 上限 年率2.6824% (税込)

※ 上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料 : 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

### 【ご注意事項】

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

●当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

●投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。